

大規模土砂災害合同防災訓練を実施しました

多治見砂防国道事務所

平成23年10月15日（土）長野県木曾郡上松町において、国土交通省（中部地方整備局、多治見砂防国道事務所）、長野県（県庁、木曾建設事務所、木曾地方事務所）、上松町と合同防災訓練を実施しました。

今回の防災訓練の特徴的な項目

- ・地震により発生した河道閉塞(天然ダム)に対して、改正された土砂災害防止法(H23.5.1施行)に基づき国が緊急調査を実施
- ・緊急調査や自治体との情報共有を円滑にするため、国は対策本部を現地(上松町内)に設置し、合同対策会議を開催
- ・国が長野県と上松町に通知した「土砂災害緊急情報」を活用して、上松町は避難計画を作成



天然ダム(イメージ)

多治見砂防国道事務所では、H18年度の中津川市を皮切りに、これまで管内の5市町村において順次合同防災訓練を実施してきました。

多治見砂防国道事務所



合同記者会見



緊急調査の結果を説明

長野県



合同対策会議

上松町



災害時には、「国」「県」「市」が連携を取り対応
・情報共有
・応急対策
・警戒避難

※ロールプレイング方式とは、役割演技法ともいい、コントローラー（進行側）が災害時のシナリオをプレイヤー（訓練を受ける側）に仕掛け、両者がそれぞれの役割に応じて、災害対応能力を高めていくことを目的とした訓練方法です。